

# THE KILLER WHALE TIMES

## 2021 年度 全日本大学選手権大会号

皆様ご無沙汰しております。タイムス班の佐藤です。

去る 10 月 28 日から 31 日に、第 99 回全日本選手権兼第 48 回全日本大学選手権が開催されました。商大からは男子舵手付きフォアが出場いたしました。今大会では、コロナウイルスの感染対策として、出漕クルーを限定するためのタイムトライアルが前日の 27 日に行われました。エントリーされた 31 クルーのうち 17 クルーのみが予選に出場できるとのことでした。商大フォアは健闘したもののタイムトライアルにて敗退となりました。

皆様、応援誠にありがとうございました。

これにて 4, 5 年目は引退となり、商大ボート部は新体制となりました。これからもインカレ準決勝進出という目標に向け、練習に励んでまいります。

今後とも、変わらぬご支援をよろしくお願いします。



# RACE RESULTS

## ○男子舵手付きフォア

C:西谷昇馬(4) S:長崎夕(2) 3:久光智也(4) 2:岩谷旭(3) B:根間大輔(4)

第48回全日本大学選手権大会タイムトライアル

PAGE: 1

男子舵手つきフォア TimeTrial結果一覧

2021年10月27日

Men's Coxed Four TimeTrial Result List

17

Rank	組-BNo.	Crew	Result	Qualification	艇不足重量
1	C 3	日本大学	6:46.29	⇒全日本選手権	0
2	F 3	中央大学	6:46.73	⇒全日本選手権	0
3	E 4	仙台大学	6:50.06	⇒全日本選手権	0
4	E 3	慶應義塾大学	6:51.97	⇒全日本選手権	0
5	E 1	龍谷大学	6:54.29	⇒全日本選手権	0
6	A 4	東北大学	6:55.04	⇒全日本選手権	0
7	G 2	明治大学	6:56.28	⇒全日本選手権	0
8	C 5	学習院大学	6:56.42	⇒全日本選手権	0
9	E 2	日本体育大学	6:57.88	⇒全日本選手権	0
10	G 3	一橋大学	6:58.61	⇒全日本選手権	0
11	B 5	法政大学	6:58.75	⇒全日本選手権	0
12	F 1	同志社大学	6:59.82	⇒全日本選手権	0
13	F 2	東京経済大学	7:01.60	⇒全日本選手権	0
14	A 2	神戸大学	7:01.71	⇒全日本選手権	0
15	B 1	立教大学	7:01.71	⇒全日本選手権	0
16	D 2	大阪市立大学	7:02.72	⇒全日本選手権	0
17	G 1	京都大学	7:02.91	⇒全日本選手権	0
18	A 3	滋賀大学	7:05.23		0
19	B 2	大阪工業大学	7:06.16		0
20	A 1	北海道大学	7:07.35		0
21	F 4	富山国際大学	7:08.54		0
22	C 4	関西大学	7:09.01		0
23	A 5	大阪大学	7:10.65		0
24	B 3	広島大学	7:12.51		0
25	D 4	関西学院大学	7:12.96		0
26	B 4	早稲田大学	7:14.59		0
27	D 3	成蹊大学	7:15.83		0
28	C 2	小樽商科大学	7:16.78		0
29	G 4	名古屋大学	7:20.32		0
30	D 1	東京大学	7:22.18		0
31	C 1	成城大学	7:42.86		0



出漕前のクルー 左から  
長崎(2)、根間(4)、西谷(4)、  
岩谷(3)、玉腰(2)、久光(4)



# COMMENT

## ○根間大輔(4)

最後のインカレを終えて

2021 年度主将をやらせて頂きました、根間です。

最後のインカレ、とありますが、正確には私たちは前日のタイムトライアルを突破出来なかったのもので、最後のタイムトライアルを終えて、です。レースを終えてから 2 週間程経過しましたが、このシーズンの反省を述べたいと思います。

まずは 7 月。

同期が 1 名退部し、この時点で 3 年生以上でフォアを組むことは出来なくなりました。2 年生はコロナの影響でほぼ初心者、その中で約 2 週間で北大戦に臨みました。

結果は前回も述べましたが、大敗しました。

8 月。

距離をこなす、キャッチでの固定感という目標を定め、1 回のスタンバイで 22 キロ漕ぐという練習を試みました。インカレで結果を残すためには必要な練習であったと思いますが、漕ぎこみの途中で整調、2 番が負傷しました。キャッチでの固定感も出てきて、艇速も少しずつ伸びてきていましたが、あまりフォアを組めませんでした。

8 月下旬、インカレの延期が決まりました。

9 月。

負傷者がいたこと、コロナ関係でほとんどフォアを組めませんでした。

10 月。

気持ちを入れ直し、急ピッチで練習を重ねました。固定感は良くなってきたので、次はフィニッシュにかけての加速感を意識しました。期間は短かったですが、最高の練習を積みました。エルゴも、2 年ぶりに自己ベストを 9 秒更新して 7:00 まで伸びました。クルーのエルゴ平均は 7:01 くらい、昨年の予選 17 番目のタイムの 7:06 を出せるくらいのパワーはありました。艇速、バランス、そして自分の感覚も史上最高に高めてタイムトライアルに臨むことができました。

レース本番。

スタート、MAX1:32 くらいまで上がり、300 くらいまでは練習以上の艇速。

固定感も悪くない。

何故かそこから急に水が重くなる。

バランスが崩れる。

レートが上がらない。

死ぬ気で漕ぐが、第 3Q くらいで cox から 2:00 というコールが聞こえる。

何かの間違いであって欲しいと思いながら、死ぬ気で漕ぐ。少し上がる。



スパート、1:42 くらいまで上がる。ゴール。

結果は、7:16.78。31 チーム中、28 位。

呆気ない最後となりました。まだこの結果を受け止めきれいていません。

私は水を掴めていました、押せていました。フィニッシュにかけて、いい加速感を出せていました。間違いなく、去年の自分よりも強くなった、4 年間で最高の私がいました。

何故このタイムなのか、何故去年と変わらないタイムなのか。受け止めることができていません。応援して下さった皆様、結果で恩返しを出来ず、申し訳ありません。

私は不甲斐ない結果しか残すことが出来ませんでした、彼らなら私の無念を晴らしてくれるでしょう。どうか、これからも変わらぬご支援・応援をよろしくお願い致します。

4 年間ボート部で過ごせて、このコロナ禍の中で最後に全国の猛者達とレースが出来て、幸せでした。本当にありがとうございました。

2021 年度主将

根間 大輔

## ○久光智也

第 99 回全日本選手権大会兼第 48 回全日本大学選手権大会でフォアの 3 番を務めました 4 年の久光智也です。まず、本年のインカレは元々 9 月 9 日から開催予定だったものが 10 月 28 日に延期され、私たちのフォアを例にエントリー数の多い種目は 27 日にタイムトライアルを行い、その上位が 28 日からの予選に参加できるというものでした。今年のタイムトライアル突破は例年でいう準決勝進出に近い意味という認識でした。

戸田入りしてから 3 日程はなかなか私たちが茨戸でできていた漕ぎを再現することができずにとっても苦労しました。やはり水質や練習環境の違い等による焦りもあって慣れるまでに時間がかかってしまいました。特に整調の長崎は 2 年生で初戸田ということもあり難しいことも多かったでしょう。それでもトライアル前日にはかなり自分たちのベストな漕ぎに近づけられ、良い感覚を得ることもできました。これなら力を出し切れるとも感じていました。レース当日のアップでも同じような感覚、気持ちでいられました。

そしてレースが始まり、スタート～250m 位まではそこまで悪くない入りだったと思います。しかしそこから先、500m 辺りからは思うようにアウトプットを上げることができずに最後まで行ったような印象です。例年通りといえばそうですが、茨戸でのベストタイムより 10 秒以上遅い結果となり、トライアル突破は叶いませんでした。もう少し私が頑張っていたら、あと 2 枚でもレートが上げられていたら違ったのか、などとレース直後は色々と考えてしまいました。今ではあの日あの瞬間の漕ぎが私たちの実力だったのだと思うようにしています。

正直に言うと悔しい結果ではありました。私たちならばもっと良いタイムが出せると思っていました。ですが私はこのインカレを以て引退です。最後の年のインカレの延期が発表され、開催が危ぶまれた時期には辛いこともありましたが、無事に開催され戸田で漕ぎきることができて本当に良かったです。今後は私も応援する立場になります。今の後輩たちはエルゴタイムも伸びてきているため、期待できると感じています。今から来年のインカレを楽しみにしています。

最後に、これまでご指導いただいた谷津監督、応援していただいたOB・OGの皆様、本当にありがとうございました。

#### ○西谷昇馬(4)

5年目COXの西谷です。インカレについてタイムスを書かせて頂きます。

今年のインカレですが、去年とは違い予選前日にタイムトライアルを行うことになり、例年より厳しい戦いとなりました。

去年は直前に戸田入りしたことで上手に練習を積むことができず、本番を迎えてしまった反省があった為、今年はインカレ5日前から戸田入りし、コースでの練習回数を増やす事に。

しかし戸田入り二日目まではいつも茨戸でやっている漕ぎを出すことが出来ず、また環境が全く違うプレッシャーで、僕は落ち着きを欠いていました。この時上級生としてもっと落ち着いて出来ていれば、練習の成果は違ったかもしれないと思います。

それでも3日目からはようやく落ち着いて、普段同様の練習ができてきました。低レートでの練習は、長い時間をかけてやってきた成果を感じるもので、レースへの期待を持てるものでした。

前日の代表者会議で本番直前でのコース練習は禁止となったため、僕たちは急遽早朝コース練習・午後荒川練習で本番前のウォームアップを行うこととなりました。僕は荒川で出すのは初めてでしたが、事前に谷津さんがOBの西澤さんに航行ルールを伺って下さったのでなんとか失敗せずに済む事ができました。西澤さん、ありがとうございました。

本番については、まず艇速に関してはAve1:49と満足のいく結果ではありませんでした。理由としては、レートが想定より低かった事、それに伴うリズムのズレがあった事だと考えます。本番前に長距離のハイレート、r36以上をキープする練習を取り入れておけば良かった

かもしれません。

レートが低いから漕手が手を抜いていた訳では決してないので、素直に僕が上手いレースプランを建てられなかった事に原因があると思っています。

長崎に関しては、2年生で整調に置くという思い切った指名に対し、良く答えてくれたと思っています。彼がいなければインカレを目指す事も難しかったので、今まで厳しい練習に付き合ってくれて本当に嬉しかったです。ありがとう。

それから根間・久光は、僕が5年目として不甲斐ない面を多く見せても、いつも支えてくれました。彼らがいなければ僕は今年やってこれなかったと思います。特に根間には主将として本当に助けて貰いました。

最後に、これから部を引っ張っていく岩谷には、今年のインカレの反省を活かして一年頑張ってもらいたいです。彼の最近の伸びは目を見張るものがあるので、皆様もどうか期待を持って新たな商大ボート部を応援して下さい。

茨戸に帰り、最後にフォアを出しました。

大学人生最後のフォアは、今までで一番最高に楽しいフォアで、少し恥ずかしいですが、泣きそうになりました。

「もう終わりか、もっとやりたかったな」

こんな風にボートを思ったのは初めてでした。

今の下級生達が、来年以降そんなボートを漕げる事を祈っています。

小樽商科大学ボート部 5年 西谷昇馬

### ○岩谷旭(3)

今回の全日本大学選手権に2番で出漕しました、3年の岩谷です。去年に続き2回目の出場となりました。去年に引き続きインカレにて結果を出せなかったことを悔しく、申し訳なく思います。

今回のインカレの結果は茨戸での2000mのベストタイムから10秒以上下がり、7分16秒。ホームの環境である茨戸でのベストが7分3秒程だったため、アウェイの戸田ではそれ以上のタイムは元から望んではいませんでした。それにしても後悔の残る結果となってしまいました。自分たちのベストに近いタイムを出し、それでも負けてしまうならば後悔もないかもしれませんがそうではありません。なぜ練習の最中から自分の意見をもっと主張し

なかったのか、自分の体をもっとケアしてれば直前の怪我也防げたのではないか。いつもよりかなり遅い艇速の艇に乗りながら、先輩方の最後のレースだと言うのに、僕はそんなことを考えながら漕いでいました。最後のレースくらい先輩方のために無我夢中で漕ぎきって、笑って終わりたいかったというのが本音です。

しかしシーズンを振り返るとこのクルーを組めて良かったと改めて実感しました。特にインカレが終わり、記念の意味を込めて最後に茨戸で浮かべた「Nord Stella」の艇速、そして対校クルーメンバーの力強さを僕は忘れることは無いでしょう。

今までお世話になり、また共に闘ってきた先輩方、4年間本当にお疲れ様でした。来年はこの無念を晴らせるように努力します。

## ○長崎夕(2)

全日本大学選手権大会で整調を務めさせて頂きました2年目の長崎です。

今回のレース、スタートからスタリキは全員のキャッチが揃っている感覚があって艇速も出ていて非常に良い出来で、第一クォーターではそのリズムを崩すことなく漕げていて良かったのですが、第二クォーターから全員のキャッチがズレてきて艇速が一気に落ちてしまいました。さらに第3クォーターではレートを34で一定に保つことが出来ず33まで落としてしまいました。整調として非常に不甲斐ないです。

タイムも7分16秒とかなり悔しい結果となってしまいました。今後はこの悔しさを糧に、来年こそは準決勝進出という目標を達成するために練習に励んでいきたいと思っておりますのでこれからも応援よろしくお願いたします。



船を運ぶ4人。  
こちらを見ているのは  
岩谷(3)と根間(4)

部員からTシャツとアルバムの  
プレゼントをもらって笑顔の引  
退する3人。  
左から 根間、久光、西谷



# 監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦(平成 5 年卒)

10 月初旬、日本ボート協会からインカレのエントリー状況と大会の進め方が発表されました。

10/28(木)~31日(日)に延期されたのは前述の通りですが、今回は実業団なども出漕する全日本選手権との併催になります。なのでどのような大会運営になるのかが、非常に気になる場所でした。

要項では感染対策の一環として、一日の出漕者数を 800 人以内におさめる為に出漕クルーの多い艇種は 10 月 27 日(水)にタイムトライアルが行われ、そこで勝ち進んだクルーのみが翌日からの「予選」に進むという形になりました。

タイムトライアルが実施される種目は男女シングル、男女ダブル、男子舵手無しペア、そして男子舵手付フォアとなりました。

女子シングル(22⇒14)、男子シングル(38⇒13)、女子ダブル(25⇒14)、男子ダブル(23⇒16)、男子ペア(23⇒16)、男子舵手付フォア(31⇒17)

(カッコ内は大学エントリークルー数⇒28日進出クルー数)

つまり商大フォアは 31 クルーの中 17 番以内のタイムを出して初めて予選に進むという事になります。18 番目以下のタイムならこれ一本漕いだけで彼らのインカレは終了です。

10/27(水)が決戦の場となりました。

北海道選手権から 10 日しかありません。大会後の 10/19,20 の両日、久々の早朝練習(艇庫が宿泊不可なのでいつもは通いで 9 時集合でした)で北大との並べが茨戸最後の練習になりました。高レートでも指摘してきた長く水中を支える事、端々の軽さに加え、リズムのキレの良さもしっかり出てきて、20 日の北大との 1,000m×2 本ではスタートから水を開けての完勝。全道選手権のリベンジを果たして茨戸を後にしました。

そして 10/27(水)の本番。ほとんど無風のベストコンディションで 7 分 16 秒。全体で 28 番目。自分は自転車での伴走をさせてもらいました(無観客開催で基本的に応援もダメなので伴走も 1 クルー 1 人の許可制です)。漕ぎそのものも悪くなかったので、この平凡なタイムにはちょっと驚きというかショックでした。横に並ぶ相手がいなくて独漕状態になったせいか途中で艇速が落ちてしまい、その分ラストで上げた形になったようです。せめてもう一本漕がせてやりたいという思いもありますが、しっかりやれることをやりきったレースだ



ったと思うので、短縮出来るとしてもせいぜい 3 秒位でしょう。北大もここで落ちました（全体で 20 番目）がタイムで 10 秒近く負けてしまったのも納得がいきません。しかし完全に力負けです。インカレが延期になった事で故障者に猶予が与えられたのは良かったとも言えますが、その間に力を養うという点で他の大学に劣ってしまったという事です。

応援してくださった皆様のご期待に応えられず申し訳ございません。4 年生の西谷、根間、久光はこれで引退です。冬は体育館が使えない為に雪の入り込む車庫でエルゴを漕いだり、昨年同様艇庫で合宿が出来ない為に小樽から通いで練習をやったり、緊急事態宣言下でGW明けから 1 か月練習が出来なかったり、何かと制限のあったこのハードな年に、常に前向きなクラブの舵取りを行ってくれました。急な退部者の影響で漕ぐ事以外の負担も増えましたが、進んでこなしてくれました。本当に感謝したいと思います。

新主将の岩谷のもと、2022 年度新体制が始まっています。新型コロナウイルス禍の終息を願うとともに、今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

[n\\_tanitsu@yahoo.co.jp](mailto:n_tanitsu@yahoo.co.jp)



ポーズを決める 5 人。  
長崎(2)、久光(4)  
岩谷(3)、根間(4)、西谷(4)



2019 年度卒 末吉祐馬様、高瀬鈴香様より  
ジュースの差し入れをいただきました。  
ありがとうございました！！

## 2022年度 新体制紹介



### 【主将】

今期から漕艇部主将を務めます、岩谷旭<sup>いわやあきら</sup>と申します。長年果たせていないインカレ準決勝進出を目標に、レースで結果を出せるチームをめざしていきます。また笑顔の多いクラブ作りをしていきたいと思いますので、応援のほどよろしくお願ひします。

### 【主務】

新体制から主務を務めさせていただくことになった小川菜未<sup>おがわなみ</sup>です。今2年でコロナもあってボート部について詳しくないこともあっていろいろ助けてもらうことも多いと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



### 後援会費について

**後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。** ¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会会則に則り、満年齢 65 歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数の OB の方々をご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更に つきましては、現役会計(廣中にいな)か担当の平成 10 年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数の OB の方々をご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更に つきましては、現役会計(廣中にいな)か担当の平成 10 年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908  
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガクソウ ティブ  
店番:341

口座番号:3657349

取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 3 年目 廣中にいな

TEL: 080-1896-7158

MAIL: [ouc.rowing2021@gmail.com](mailto:ouc.rowing2021@gmail.com)

### ＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先: タイムス班

1 年目佐藤 虹歩

TEL: 090-8427-6066

Mail: [rowing1937@yahoo.co.jp](mailto:rowing1937@yahoo.co.jp)